



闘病中の子ども・重症心身障がいの子どもの学びと本物のアートを！

認定 NPO 法人スマイリングホスピタルジャパン

News Letter

第 27 号

発行:2020 年 12 月 10 日 東京都杉並区高井戸東 3-3-15-308「スマイリングホスピタルジャパン事務局」
Tel/Fax: 03-4296-5691 E-mail: info@smilinghpj.org
HP : www.smilinghpj.org

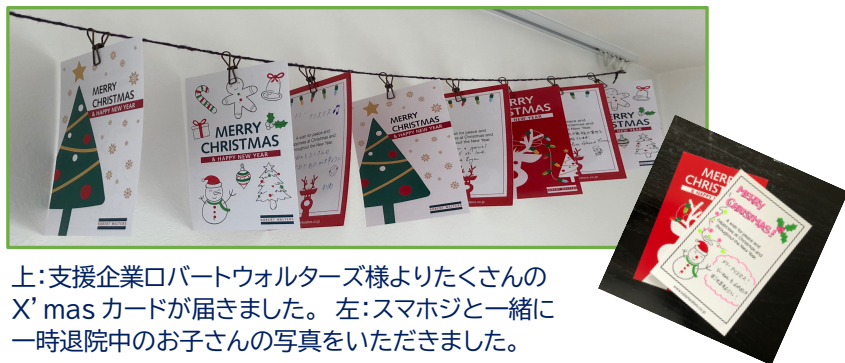
“Season's Greetings”



お蔭様で 10 月 1 日、新年度を無事迎えることができました。日常が変わってしまったとしても変わらないのは子どもは毎日成長している、ということ。新型コロナウイルスの勢いが衰えず病院や施設での活動は休止している状態ですが、それに代わる活動を提供しながら安全確保の上、活動を再開できるよう準備中です。また、新しい年度のスタートとともに、収益事業を開始し、マンスリーサポート会員制度や遺贈寄付受付など支援のメニューも追加しました。

早いもので、数週間で新しい年を迎えます。今年お世話になった感謝を込めて、皆様にとりまして来年が良い年になりますようお祈りいたします。来年もどうぞよろしくお願いいたします。

SHJ 一同



上: 支援企業ロバートウォルターズ様よりたくさんの X'mas カードが届きました。左: スマホジと一緒に一時退院中のお子さんの写真をいただきました。

もくじ

1 2020/9~11月トピックス	…2	7 SHJ アーティストから CD のプレゼント	…4
2 絵本のプレゼント紹介	…2	8 「SHJ 学びサポート」より報告	…5
3 病院からのコメント紹介	…3	9 YouTube スマイリングちゃんねる更新中	…6
4 キミだけのオリジナルステッカー実施中!	…3	10 連載漫画ろてんちゃん vol.13	…6
5 SHJ アーティストオンラインライブ	…3	11 スクープ!	…6
6 コラム~学校行事に思うこと	…4	12 2019年度事業・収支報告	…7
		13 団体概要アップデート	…8

みなさまからのご支援は、アーティストの抗体検査、謝金などの貴重な活動費となります。引き続き、大切に使用させていただきます。今後とも変わらず応援くだされば幸いです。

年間サポート会員、マンスリーサポート会員ご入会・ご寄付お待ちしております!

マンスリーなら月々500円(年間6,000円) = およそ活動1回1名分のアーティスト・学習支援員謝金 = 平均20人の子どもに笑顔をプレゼント。詳しくは添付のチラシやホームページをご覧ください。

* 認定 NPO への寄付 (SHJ サポート会費も含まれます) は税制優遇の対象になります。

詳しくは、SHJ ホームページ「認定 NPO について」をご覧ください。所轄税務署にお尋ねください。



2020/9～11月 トピックス&12月の予定

- 9/5 オンライン事務局定例会を開催しました。
- 9/5 遺贈寄付ウィーク(9/5～14)に際し、**朝日新聞**に SHJ が掲載されました。
- 9/10 ニュースレター第 26 号を発行しました。
- 9/23 **神奈川県福祉子どもみらい局**サイト「**あなたのみらいを見つけに行こう!**」で活動が紹介されました。
- 9/26 令和元年第 2 回理事会を開催しました。
- 10/1 令和2年度がスタートしました。
- 10/1 **寄付サイト**をリニューアルしました。
- 10/1 **オンラインショップ**を開店しました。「バリアフリーみんなの教材図鑑」「ボランティアハンドブック」の販売を開始しました。
- 10/5 神奈川県立子ども医療センターオンライン研修会「病院での新型コロナウイルス感染症対策」に参加しました。
- 10/5 遺贈寄付の受付を開始しました。
- 10/7 **東京新聞**にて「SHJ 学びサポート」が紹介されました。
- 10/10 オンライン事務局定例会を開催しました。
- 10/26 Share With FIAT オンラインミーティングに参加しました。
- 10/29 超党派 NPO 議員連盟総会に出席、NPO 持続化給付金等に関してヒアリングを受けました。
- 10/31 令和元年第 3 回理事会を開催しました。
- 11/1 SHJ オフィシャルキャラクター「スマホジ」マスコット人形の販売を開始しました。
- 11/4 令和元年度通常総会(**みなし総会***)を開催しました。
- 11/8 オンラインショップにて教材の販売を開始しました。
- 11/9 東京都へ令和元年度事業・収支報告をしました。
- 11/11 **持続化給付金**申請を行いました。
- 11/17 子供が輝く東京・応援事業研修会に参加しました。
- 11/20 **毎日新聞福岡版**にて SHJ が紹介されました。
- 11/21 オンライン事務局定例会を開催しました。
- 11/27 **講談社 FRaU** に団体が掲載されました。
- 12/1～3 **幻冬社 GOLD ONLINE** 寄付・遺贈寄付特設ページにて掲載

12月10日
メールマガジン
はじめます!



みなし総会*とは

理事又は正会員が提案した事項について、全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたとき、当該提案を可決する旨の総会の決議があったものとみなすものです(NPO 法第 14 条の 9。)定款に規定がなくても、NPO 法第 14 条の 9 で規定されている「みなし決議」による総会開催が可能です(定款でみなし決議を禁止する規定がある場合を除く。)

持続化給付金

制度が開始されてから NPO 法人特例として事業収益および会費の合計額が前年同月に比べて5割以上減少した NPO 法人も申請可能な持続化給付金が、寄付金を主な収入源として活動する NPO にも適用されるようになりました。SHJ も要件を満たすための事前確認を済ませ、給付申請を行いました。



絵本作家 カワダクニコ様より絵本のクリスマスプレゼント



病棟の子どもたちへご寄付いただきました。クリスマスプレゼントとして順次発送いたします。

1冊ずつ手書きの絵カード付き!

★にゃんたる刑事

謎解き、間違い探し、迷路などを楽しみながら、どんな事件もにゃんにゃんとかいけつ!

★おばけえん

おばけえんのおばけたちと遊んだら・・・ブルブル、ドキドキ、ハラハラ・・・そしてわくわく!



病院から嬉しいコメントが届きました！

静岡の様子をお伝えします。

県の警戒レベルは11/6にレベル4に引き上げられました。ウィズコロナの下で、レベル3でも短時間の、患者さんと接触しない活動は何とか再開できないものかと検討を始めたところでした。

病棟からも音楽や読み聞かせなど、患者さんの発達や精神的な安定に大きく影響するので早期の再開と継続を希望するとの声が来ています。

面会制限が緩和され、ボランティアが病棟に入ることにについて職員とご家族の理解が得られれば前に進むと思われます。

スマイリングホスピタルジャパン様の活動は当院の子どもたちに必要なものとなっております。

感染者が増加傾向となったことで時期はもう少し遅くなってしまいそうですが、またご訪問いただけるようになることを願っております。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

11月13日静岡県立こども病院ボランティアコーディネーター 薮崎和美様より

このままもう活動ができなくなってしまうのではないか、という私たちの不安は病院からの期待により払拭されます。大変励みになります。ありがとうございます！



「キミだけのオリジナルステッカーを作ろう」実施中！

訪問できないなかで、いかに病室でクリエイティブな活動ができるか・・・

塗り絵や紙芝居作りに続き実施したのがステッカー作り。

下の写真は寄せられた図案の数々です。ラミネート加工し20枚セットにして、これまで167人の子どもたちに届けることができました。

世界に1つだけしかない僕だけ！私だけ！のステッカー。

思った以上のかっこよさに歓声をあげ、大喜びの子どもたちはさっそくいろんなところに貼って楽しんでくれているようです。

スマイリングに1枚あげてもいい、という子が保育士さんを通して事務所にたくさん届けてくれました😊



お店に売ってるみたいにかっこよくパッケージされ届いたステッカーに子どもたちのテンション上がりました！



1枚スマイリングにあげて、と保育士さんに差し出す子どもたちの姿を浮かべてはキュン！ステッカーを手にしてさらにキュン！みんなありがとう！



SHJ アーティスト・ドラマーの藤原隆幸さんが書籍を出版！

福岡地区立ち上げに力を注いでくださった藤原さんは、ミュージシャンとしての才能、そして文才の持ち主。太平洋戦争に翻弄される家族の物語を両親から聞き取った当時の話や資料をもとに小説に仕上げられています。お父さんの通院に付き添いながらブログにしたものを1冊の本に。家族の日常のなかで戦争が激化し、そして敗戦へと向かう中で家庭の何気ない会話がストーリーの流れに絶妙な変化をつけていて奥行きのある情景が生々しく浮かんできます。

「南方の土」。戦争はいけない、と口にするのは簡単。大切なのはこのような体験記という語り部を通して、広く伝え続けて実感を共有していくこと。

購読希望の方は、08039783401 藤原隆幸さんまでショートメールで！





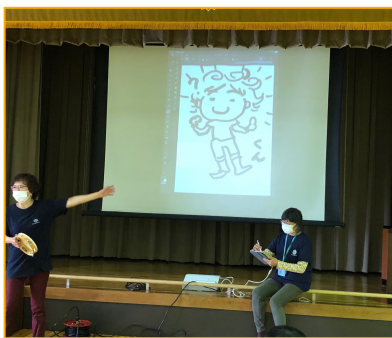
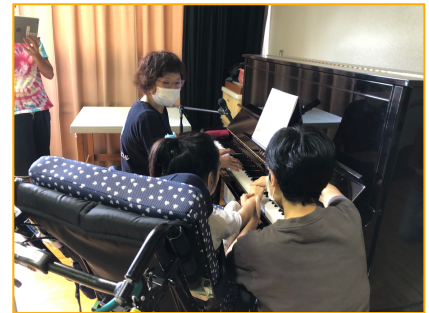
学校行事に思うこと～

新宿区立新宿養護学校「小6ワンダーランド」を終えて

感染予防のため宿泊行事がなくなってしまった新宿養護学校の小学部 6 年のあるクラスに呼ばれました。宿泊行事の代わりだけど、それに負けないような小学校最後の思い出となるとびきり楽しい時間を作ってください！との要望にミュージシャンと造形アーティストが芸術ワンダーランドの約2時間をプレゼント。「学校の先生も、ご家族も、全員参加しますが主役は皆さんです。やりにくいな、わからないな、と思ったらすぐに教えてください」とお伝えし開始となりましたが、振り返ると少々テンポが速かった印象です。一人ひとりのペースに合わせられたかな？一人ひとりの困難さに対応できたかな？というのが反省点。もっともこれは今回に限ったことではない毎回の課題なのですが。

まずは音楽。ゆったりとしたジャズのスタンダードナンバーが続きます。この日は十五夜でした。”ムーンリバー”のピアノ演奏に波の音を再現するオーシャンドラムで水の音を効果音として入れてくれた人、ツリーチャイムをタイミングよく鳴らして雰囲気を作ってくれた人がいました。みんなで作る演奏会の後は一人ずつピアノ連弾、そしてクライマックスは全員参加のジャズのコールアンドレスポンス！

“イエーエエ…イエーエエ” “シャバデユバ…シャバデユバ”
子どもも大人も全員で盛り上がりそのまま創作活動へ。



即興絵描き歌で一人一人の似顔絵を、スクリーンを映しながら少しずつ描いていき会場の誰かを当てるというクイズアトラクションで大にぎわいです。続くハロウィンに向けたランタン作りにも、お父さんもお母さんもそして絵の得意な教員も夢中でした。最後はランタンを灯してピアノ演奏を聴きながら記念撮影。

さてお家の方がとても嬉しいコメントをくれました。
宿泊などではなくこういう形の活動が、短時間だから集中できて無理なく楽しめる、子どもたちのためにはとてもいいと思う、と。

行事＝イベント。イベントといえば非日常。日常の中にイベントが挿入されることでリズムができ、その日を楽しみに過ごすことができます。日常の中のキラリとしたエッセンスになります。でもその回数が多すぎたり、無理を伴う旅であったりすると、平穏な日常のはずがそのための準備に疲れてしまう、ということになりかねません。スケジュールをこなすための前例ありきの行事になつては全く意味がありません。特に困難とともに毎日過ごす子どもにとっては、参加のための体調管理がかえってストレスになったり、どんなに楽しみにしていても、当日の健康状態によっては参加を見送らなくてはなくなることが十分あり得ることは認識されるべき点です。

子どもの状態や心に最大限寄り添い、その上で行事を、
”大切な日常のリズムの中のエッセンスとして取り入れる”
くらいのおさえて良いのかもしれない。

代表ブログより



SHJ アーティスト原由美子さんより CD のプレゼント



千葉県こども病院のロビーでピアノリサイタルをされる原さんから、病院や施設の子どもたちに聴いてほしいと素敵な CD が事務所に届きました。2枚セットでメッセージ付きです。

♪ピアノ箱 ♪∞の空の下で
カワダクニコさんからの絵本とあわせクリスマスに向けて笑顔を届けられたら嬉しいです。



重さや長さで数の概念を感じることも大事！ やり方さえ工夫すればできることはたくさん！

現在 9 名(3~21歳)の参加者と 5 名の支援員(特別支援学校教員 2 名、言語聴覚士 1 名、SHJ アーティスト 3 名)で、一人月1回 2 時間の学習を進めています。学習内容は、視線入力、算数、文字、目と手の協応、コミュニケーション、美術、音楽を、個々に違う障がいに合わせて、個別のニーズに沿った方法で環境を整えながら行っています。

音や光、振動が伝わる教材で手の運動や空間の把握を、口角の動きで操作するタブレット端末のアプリで楽器を演奏、また、木材やアルミ素材の円柱などで作ったオリジナル教材もふんだんです。その内容は活動報告として HP にて公開しているのでぜひご覧ください。

10/7、その理念と学習の様子を東京新聞より取材を受け、夕刊第一面に掲載されました。取材に協力いただいたお宅では、支援員の訪問時に家族やヘルパーが教え方を学び、自宅学習を支えています。

SHJ では、その手法を多くの人に広めるため「バリアフリーみんなの教材図鑑」を作成、障がい児教育の関係者に配布したことは前号で紹介しました。

その後、好評につき、HP にて販売を始めました。図鑑に掲載の教材も順次販売開始しています。詳しくは別紙「SHJ 販売サイト SMILING STORE 開店!」をご覧ください。

さて、重度障害者の学習を支える取り組みは徐々に広がり、2017 年 12 月には「重度障害者・生涯学習ネットワーク」が設立されました。SHJ 学びサポートは今年に入ってネットワークの仲間に入れていただきました。現在首都圏を中心に11団体が加盟しています。

「重度障害者・生涯学習ネットワーク」加盟団体一覧

生きることは学ぶこと。学ぶことは生きる喜び。生涯にわたって学び続ける喜びを！

- 訪問カレッジ@希林館 東京都小平市
- 訪問大学おおきなき 東京都大田区
- ひまわり Home College 東京都新宿区
- 訪問事業 i.porte 神奈川県川崎市
- 訪問療育いるか 東京都杉並区
- 訪問カレッジ Enjoy かながわ 神奈川県横浜市
- 訪問カレッジ静岡 静岡県静岡市
- 日野市障害者訪問学級 東京都日野市
- 在宅訪問学習支援「SHJ 学びサポート」 東京都杉並区
- みんなの大学校 東京都国分寺市
- 訪問カレッジ・オープンカレッジ@愛媛大学 愛媛県松山市

10 月にパンフレットが作成されました。重い障がいのために学びがストップすることのない社会を！という願いを込めて。ご希望の方はおしらせください。東京ボランティア・市民活動センターにも置いてあります。





スマイリングちゃんねるで検索！

訪問に代わって病室で見てもらえるような参加型動画を配信中です。アーティストたちの楽しい動画を順次アップ。一般公開していますのでぜひご覧ください。

ほかほか 3てん ちゆん アート大好き♡32んちゃん! の巻 その13 BY MIWA YUKO

三輪ゆうこさんによる連載漫画、早くも13作目になりました。露天風呂が好きなるてんちゃん=三輪さんと愛猫ストーリーが緑り広げるアートをめぐるやり取りはいつもほんわかあったかい！連載これからも続きます！！



スクープ！！

スマホジがアーティストに代わって病棟に笑顔届ける！



11月1日、オフィシャルキャラクター「スマホジ」マスコット人形の販売を開始しました。点と線のシンプルな顔が人気の理由のようです。購入くださった方からのレビューをいくつか紹介します。

■長期入院している3歳の娘にこのスマホジちゃんを見せたところ、かわいい〜♡と満面の笑みを浮かべて嬉しそうにしていたので購入を決意。届いてから早速娘に持っていくと、ギューツと抱きしめてかわいい!!とお母さん気分でお世話を始めたり、検査の時に一緒に連れて行ったりと本当に気に入っています。それを機に上のお姉ちゃん達にも購入をすることになり我が家にはスマホジちゃんは2体一緒に暮らしています。

■一目惚れして、1度に2つ購入。なんとも言えない表情が、ほんと可愛いくて、肌触りもほんわかしてて、大人の私が毎日癒されてます。きっと不思議な力を持っているスマホジちゃんだと思います。たくさんの方々の元に届くといいなあ。

■スマホジちゃんのとびっきりのスマイルに癒されます。ポシェットにお手紙を入れて、字を覚えようと頑張っている息子に届けてくれる郵便屋さんになりました！

■包みを開けると自然に笑顔になりました。ほんわり優しい雰囲気なのに、存在感抜群です。柔らかい笑顔で見守ってくれているようです。

ご購入はSHJのホームページ「オンラインショップ」にて。詳しくは同封のSMILING STOREのチラシをご覧ください！



2019（令和元）年度事業報告（2019/10/1~2020/9/30）

事業内容

特定非営利活動に係る事業

① 病棟や個室を訪問して芸術活動等を行う事業

- 日時：通年（2月21日より新型コロナウイルス感染拡大のため活動休止）
- 場所：北海道、宮城、茨城、埼玉、千葉、東京、神奈川、静岡、愛知、京都、大阪、広島、福岡、沖縄各地の病院
- 対象者の範囲：入院患者とご家族
- 従事者人数：160名

② 在宅児・者を訪問して芸術活動・学習支援等を行う事業（学びサポート）

- 日時：通年（3月より6月まで新型コロナウイルス感染拡大のため活動休止）
- 場所：東京都杉並区、世田谷区、中野区
- 対象者の範囲：在宅にて医療的ケアを受ける子ども
- 従事者人数：6名

③ 病院や施設のホール等で芸術鑑賞などの会を開く事業

- 日時：通年（2月21日より新型コロナウイルス感染拡大のため活動休止、7月に広島で2回活動）
- 場所：北海道、宮城、茨城、千葉、東京、神奈川、静岡、愛知、京都、大阪、広島、福岡各地の施設
- 対象者の範囲：施設入所、通所児と介助者
- 従事者人数：160名

※①～③実施回数及び対象者合計人数：253回 延べ4,943名
（2018年度実績 540回 延べ11,622名）



④ 普及啓発及び情報発信事業

（1）広報活動（ホームページ更新、ニュースレター発行等）及び各地への活動普及

- 日時：通年
- 場所：事務局、新規立ち上げ場所
- 対象者の範囲及び人数：寄付者、会員及び不特定多数
- 従事者人数：7名



（2）毎年行う全国ボランティア研修・交流会は
3月24日（日）に予定されていたが今年度は中止



2019（令和元）年度収支報告（2019/10/1~2020/9/30）

科目		合計（円）	科目		合計（円）
I 経常収益			II 経常費用		
1	受取会費	840,000	1	事業費	
2	受取寄付金	929,670		事業①病棟	2,971,728
3	スポンサー料	1,000,000		事業②在宅	760,120
4	受取助成金	△676,007		事業③施設	808,952
5	受取支援金	4,460,000		事業④普及	1,005,579
6	事業収益			事業費計	5,546,379
	在宅訪問	44,000			
7	その他収益	24,464	2	管理費	1,095,559
	経常収益計	6,622,127		経常費用計	6,641,938
				当期経常増減額	△19,811
III 経常外収益			IV 経常外費用		
				当期正味財産増減額	△19,811
				前期繰越正味財産額	10,419,535
				次期繰越正味財産額	10,399,724

●スマイリングホスピタルジャパン概要(2020年12月1日現在)

名称	認定 NPO 法人スマイリングホスピタルジャパン (略称:SHJ)				
設立	任意団体として 2012 年 2 月 25 日 法人設立 2012 年 12 月 18 日 認定取得 2017 年 7 月 27 日				
所在地	〒168-0072 東京都杉並区高井戸東 3 丁目 3 番 15-308 電話/Fax:03-4296-5691				
活動目的	入院児や社会福祉施設入所児・者及び在宅児・者を定期的・継続的に訪問して参加型の芸術活動及び学習活動等を提供し、豊かな時間と喜びを共有することで、闘病意欲や生きる喜びを持ち続けられるようなQOLの向上に寄与することを目的とする。				
事業内容	① 病棟や個室を訪問して芸術活動等を行う事業 ② 在宅児・者を訪問して芸術活動・学習支援等を行う事業 ③ 病院や施設のホール等で芸術鑑賞などの会を開く事業 ④ 普及啓発及び情報発信事業 ⑤ その他目的を達成するために必要な事業				
活動方針	・個別訪問 一人ひとりを大切に。 ・参加型活動 受け身ではなく子ども自身が主体的に。 ・定期訪問 見通しを持って活動を楽しみにできるように。生活にリズムを。 ・本物のアート 質の高いクリエイティブな活動を。				
活動場所 小児病棟:30 施設:14	北海道・東北 北海道大学病院 / 北海道道立子ども総合医療・療育センター / 石巻赤十字病院 関東 神奈川県立こども医療センター各病棟・肢体不自由施設・重症心身障害児施設 / 慶應義塾大学病院 / 新宿養護学校内ひまわり HAUS / 重症心身障害児サポートなかのドリーム / 特定非営利活動法人みかんぐみ / 千葉県こども病院 / 筑波大学附属病院おしゃべり会 / 東京女子医大筋ジストロフィー親子の会 / 東京大学医学部附属病院 / 日本赤十字社医療センター / 同附属乳児院 / 日本大学医学部附属板橋病院 / 茨城県立医療大学附属病院 / ハートっ子土浦 / 千葉大学医学部附属病院 中部 あいち小児保健医療総合センター / 静岡県立こども病院 / 名古屋大学医学部附属病院 / 信州大学医学部附属病院 近畿 大阪市立総合医療センター / 京都大学医学部附属病院 / 児童デイサービス Primo チャイルド・ケモ・ハウス / 姫路赤十字病院 / 兵庫県立こども病院 / 淀川キリスト教病院こどもホスピス / 姫路聖マリア病院ルルド館 中国 県立広島病院 / 広島市立広島市民病院 / 広島県立障害者リハビリテーションセンター若草園 九州・沖縄 九州大学病院 / 久山療育園重症児者医療療育センター / 北九州市立八幡病院 福岡市立こども病院 / 久留米大学病院 / 沖縄県立宮古病院				
学びサポート	東京都内 9 カ所	事業年度	10 月 1 日～9 月 30 日		
年間活動数	253 回 (2019 年度実績)	参加者数	延べ 4,943 名 (2019 年度実績)		
役員	代表理事 松本恵里 副代表理事 野間紀孝 理事 丸山敦子 理事 谷口明子 理事 平井麻衣子 理事 藤田城治 監事 車尾薫 事務局 瀬戸山あゆみ 加藤孝佳 望月聡子 丸山敦子 山口英一 野間紀孝				
地区 コーディネーター	北海道:米澤倫子 長野:小倉輝久 京都:田久朋寛 福岡:田中絵理香	石巻:千葉淳子 東京・神奈川:松本恵里 大阪:西 純江 沖縄:神原紀美代 知明	茨城:五十嵐純子 静岡:鈴木知子 兵庫:住野由佳子 学びサポート:松本健太郎	千葉:北畠みゆき 愛知:箕浦恭代 広島:田中直子	
アーティスト	166 名	活動アシスタント	19 名	学習支援ボランティア	6 名
正会員	10 名	サポート会員	240 名 11 団体	事務局ボランティア	14 名
E-mail	info@smilinghpj.org		ホームページ	http://www.smilinghpj.org	
銀行口座	ゆうちょ銀行 名義:特定非営利活動法人スマイリングホスピタルジャパン 記号:10090 番号:74039541 (他行から:店名 00 八 店番 008 普通 7403954) みずほ銀行 名義:特定非営利活動法人スマイリングホスピタルジャパン 支店:浜田山支店 預金種目:普通預金 口座番号:1950697				
活動資金	会費 個人・団体からの寄付 企業協賛 助成金 主な用途:アーティスト謝金 抗体検査料 など				

協賛・スポンサー・助成団体



このほか、たくさんの方からご寄付いただいています。個人寄付・サポート会員のお名前は、ホームページに掲載させていただきます。